

令和5年度

子ども議会
答弁書

【発言順】

令和5年11月18日(土)

質問者 牧野 竜空 議員（1番）

1 ポイ捨てのないきれいな沼田市へ

ただいまの牧野 竜空議員のご質問にお答え申し上げます。

ポイ捨てのないきれいな沼田市へ、についてであります。最初に、本市のゴミ袋をもう少し安くしてみてもはどうでしょうかにつきましては、牧野議員がおっしゃるとおり、ゴミ袋を安くすることによって、野外へのポイ捨てが減ることも考えられます。しかしながら、ゴミ袋が安くなることにより、分別されずごみとして出され、ごみの量が増えることも予想されます。本市では、ごみの量を少なくする「リデュース」・一度使ったものをごみにしない「リユース」・使い終わったものをもう一度資源にもどし製品を作る「リサイクル」の3R運動を推進し、ごみを出さないことや、ごみの量を減らすことにより、ごみ処理費用の削減や自然環境への影響を最小限にすることを進めていますので、牧野議員のご意見は、今後の参考にさせていただければと思

います。

次に、たばこの吸いがらを捨てる、生き物が死んでしまうという
広告やポスターを作ってみてはどうでしょうかについてであります、
牧野議員のおっしゃるとおり、たばこの吸いがらのポイ捨てという広
告やポスターの作成を行えば、たばこのポイ捨てへの効果は大きいも
のと考えますので、今後の広告や看板作成の参考とさせていただきます
す。

以上申し上げまして、^{まきの}牧野 ^{りく}竜空議員のご質問に対する答弁とさせ
ていただきます。

質問者 川端 優里菜 議員（2番）

1 新沼田高校について

ただいまの川端 優里菜議員のご質問にお答え申し上げます。

新沼田高校について、であります。令和7年4月に沼田女子高等学校と沼田高等学校が統合され、新沼田高等学校が共学校として開校予定です。新沼田高等学校に対する皆さんの期待はとて大きなものと認識しています。

統合される沼田女子高等学校や沼田高等学校ともに、これまで培われたそれぞれの歴史と伝統をまとい、多くの卒業生が学び舎から巣立ち、活躍されていることと思います。

高等学校の設置は群馬県の事業であります。新設される高等学校については、本市における重要な教育基盤として認識していますので、新沼田高等学校設置に向けて本市ができる協力をしてまいりたいと考えています。

また、地域に活気のある高等学校があることは、まちの活性化や、本市のまちづくりにも重要であると考えていますので、新沼田高等学校におきましても、地元地域の学校として、しっかりと応援してまいりたいと考えています。

以上申し上げます、^{かわばた}川端 ^{ゆりな}優里菜議員のご質問に対する答弁とさせていただきます。

質問者 けんじょう 見城 ゆうな 結菜 議員（3番）

1 沼田のおいしい野菜を知ってもらうための発信について

ただいまのけんじょう見城 ゆうな結菜議員のご質問にお答え申し上げます。

沼田のおいしい野菜を知ってもらうための発信について、であります。本市では、農業者の所得向上や雇用の拡大による地域経済の活性化のため、沼田市農産物ブランド化及び6次産業化推進事業に取り組んでいます。

農産物ブランド化は、本市の恵まれた自然環境の中で育てられた、安全で美味しい農産物や加工品などを独自基準によるブランド認証制度により、「ぬまたブランド」として認証し、ホームページや公式SNSなどで広く紹介しています。

例えば、ぬまたブランド認証品や市内農産物を使用したレシピ開発を行い、インターネットのレシピ投稿サイト「クックパッド」で紹介したり、ユーチューブチャンネル「グッと、沼田そだち」にレシピ動

画を投稿し、広く沼田ブランドを知っていただけるよう発信しています。

また、本市の農産物の正しい知識や地域に根ざした食材を知ってもらい、沼田の美味しい農産物を身近に親しんでもらうために、「沼田市ずかん」という冊子の作成に加えて、沼田市のホームページ内でも紹介することで、沼田のおいしい野菜の旬、名産エピソード、おすすめの食べ方などを添えて、イラストを使って分かりやすく紹介しています。

今後も、魅力的な沼田市の農産物を、県内外の人へ広く周知できるよう、様々な方法で発信してまいりたいと考えています。

以上申し上げまして、見城^{けんじょう} 結菜^{ゆうな}議員のご質問に対する答弁とさせていただきます。

質問者 望田^{もちだ} ともえ 議員（４番）

1 スポーツを通じた沼田市の健康なまちづくりについて

ただいまの望田^{もちだ} ともえ議員のご質問にお答え申し上げます。

スポーツを通じた沼田市の健康なまちづくりについて、であります
が、望田^{もちだ}議員のご質問にありました「健康ぬまた21」は、「こころ
がかよいあう、活力あふれた健康なまちづくり」を基本理念として、
健康寿命の延伸や、健康を支え守るための地域活動の推進を目指して
策定したものです。

また、人生100年時代において、スポーツを通じて、市民が心身と
もに充実して過ごし、スポーツの力により地域に新たな活力を生み出
すことを目的として、「沼田市スポーツ推進計画」を令和4年に策定
しました。

スポーツ活動につきましては、コロナ禍により、ここ数年、休止し
ていたものもありますが、NPO法人沼田市スポーツ協会では、本市

の各種スポーツ教室や大会を開催し、広報ぬまたや市ホームページにおいて情報を提供しているところです。スポーツ少年団では、団員の募集として、団体名、連絡先、主な練習場所などの情報を発信しています。

また、テラス沼田7階のミズノウエルネス沼田では、子供から高齢者までを対象として、様々な種類の沼田健康スポーツ教室を開催し、市民の皆さんにスポーツの機会を提供しているところです。

これからもスポーツに親しむ人が増えるよう、^{もちだ}望田議員のご提案を参考にさせていただき、研究してまいりたいと考えています。

以上申し上げまして、^{もちだ}望田 ともえ議員のご質問に対する答弁とさせていただきます。

質問者 ^{みやた}宮田 かおり 議員（5番）

1 パラスポーツを体験できるサービスや貸し出してもらえるパラスポーツ道具には、何がありますか

ただいまの^{みやた}宮田かおり議員のご質問にお答え申し上げます。

パラスポーツを体験できるサービスや貸し出してもらえるパラスポーツ道具には、何がありますか、についてであります。宮田^{みやた}議員が体験されたボッチャという競技は、年齢、性別、障害のあるなしにかかわらず、すべての人が一緒に競い合えるスポーツです。障害によりボールを投げることができなくても、ランプという^{こうばい}勾配のついた器具を使い、自分の意思をランプオペレーターに伝えることができれば参加でき、重度の脳性麻痺者や四肢^{しし}重度機能障害者でも競技することができます。

本市の障害者スポーツ大会でも、ボッチャを種目として取り込んでおり、群馬県の大会へも参加していますが、障害のあるなしに関わら

ず競技に参加できるボッチャは、障害者に対する理解を深めるためにも大変有効だと考えています。

現在、本市では、パラスポーツではありませんが、子どもから高齢者まで「だれもが、いつでも、どこでも、いつまでも、気軽に自由に楽しめるニュースポーツ」を推進しています。ニュースポーツの種目には、カローリングやグラウンドゴルフ、キンボールなど、障害のある人でも楽しめるものもあり、用具の貸し出しが可能なものもありますので、是非利用していただきたいと思います。

今後は、ニュースポーツの推進のほか、障害者と健常者の交流が深められ、多様性を認め合えたり、障害に対する理解が深まるような場づくりも検討していきたいと考えています。

以上申し上げます。宮田^{みやた}かおり議員のご質問に対する答弁とさせていただきます。

質問者 おおしま 大嶋 はるひと 陽仁（6番）

1 エコ休けい所の設置について

ただいまのおおしま大嶋 はるひと陽仁議員のご質問にお答え申し上げます。

エコ休けい所の設置について、であります。近年では、過去に例を見ない猛暑日が続くなど、登下校する児童、生徒の皆さんには暑さによる大きな負担があるものと考えています。

さらに、地球温暖化の進行により、現在見られる気候変動は増していくことも予想されます。このような中、通学路にエコ休憩所を設置することは、児童、生徒の他、多くの市民の熱中症対策として効果的であり、ソーラーパネルの活用についても、温暖化対策の観点から重要と考えます。

なお、デマンドバスの乗降ポイントにおいては、一部の路線バス停留所を除いて待合の施設を設置していません。

今後におきましては、バスの利便性向上・利用者の増加を図るため、

他の熱中症対策も含め、^{おおしま}大嶋議員のご提案いただいた暑さ対策について、研究してまいりたいと考えています。

以上申し上げまして、^{おおしま}大嶋 ^{はるひと}陽仁議員のご質問に対する答弁とさせていただきます。

質問者 しのはら 篠原 えいじ 永司 議員（7番）

1 農業の振興について

ただいまのしのはら 篠原 えいじ 永司議員のご質問にお答え申し上げます。

農業の振興について、であります。本市では農業者を増やすために、農業を始めたい方へ向けた就農相談を随時受け付けています。土地、機械、費用、その他、農業を始めるための様々なことについて、沼田市農業委員会や群馬県利根沼田農業事務所などの関係機関と連携をしながら、相談者の希望や進捗状況に応じてアドバイスを行っています。

また、次世代を担う新規就農者の方に、農業経営を始めてから経営が安定するまでの最大3年間、給付金を給付する制度や、大きな負担がかかる機械・施設を導入する国の補助制度を利用するお手伝いもしており、これらの制度を活用していただくことで新規就農者の確保と支援を図っています。

加えて、本市農業の将来を担う力強い農業経営^{のうぎようけいえいたい}体育成を目的に、一定の要件を満たす農業者に対し、作業負荷の低減や省力化に役立つ機械の導入、施設の整備にかかる費用を助成し、農業をしやすい環境づくりを支援しています。

資金面での補助のほかに、沼田市農業委員会においては、男性農業従事者と農業に興味のある女性を農業で結び、本市の農業人口を増やす「ぬまた農縁」の活動にも取り組んでおり、一人でも多くの農業者が本市に根付いてもらえるよう支援しています。

これからも事業内容やお知らせの仕方を工夫し、農業の活性化を図ってまいりたいと考えています。

以上申し上げまして、篠原^{しのはら} 永司^{えいじ}議員のご質問に対する答弁とさせていただきます。

質問者 阿^あ左^さ見^み 泉^い月^{つき} 議員（8番）

1 給食費について

ただいまの阿^あ左^さ見^み 泉^い月^{つき}議員のご質問にお答え申し上げます。

給食費について、であります。本市の学校給食につきましては、適切な栄養摂取による健康の保持増進を図るため、児童生徒が各栄養素をバランスよく摂取しつつ、様々な食に触れ、食材や栄養、郷土料理等について「食べて学ぶ」ことができる、食に関する教材となるような献立の作成に努めています。

最近の物価高騰により、給食で使用する食材等の仕入れにも影響がありますが、給食費の金額を変えずに、必要な栄養を確保しながら給食を提供するために、同じ栄養素の違う食材を使用したり、今までと同じ食材であっても形状を変えて仕入れをすることで価格を抑えたり、野菜の加工などを給食センターの調理員が直接行い、食材加工費を抑えたりするなどの工夫をしています。また、旬の食材は栄養価も高く、

旬でない時期に比べて価格も安くなるため、積極的に使用しています。

給食は、残さず食べていただくことで必要な栄養量を摂取することができます。限られた給食費の中でも、成長期に必要な栄養量を摂取し、食に関する知識を深められるよう、また、阿左見議員のように、給食が大好きで、毎日ワクワクしていただけるよう、給食の提供に努めてまいりたいと考えています。

以上申し上げまして、阿左見 泉月議員のご質問に対する答弁とさせていただきます。

質問者 たかはし 高橋 さわ 沙和 議員（9番）

1 地元に残る若者を増やすことを目指して

ただいまのたかはし高橋 さわ沙和議員のご質問にお答え申し上げます。

地元に残る若者を増やすことを目指して、についてであります、本市では、進学などで県外に出る流出人口が多いことが、少子高齢化の1つの要因であります。現在、県外から戻ってきた若者が働くことのできる場所をつく創るため、産業団地の整備により、魅力的な企業の誘致を進めているところです。また、市内には、たんばら玉原高原やふきわれ吹割の滝をはじめとした観光地がございますが、コロナ禍後は個人観光客が増えており、このような状況に対応するため、新たに、市内の棚田や古民家を活用した体験型の観光も推進しています。

「まちおこし」につきましては、たかはし高橋議員のご提案にもあります、おしゃれなカフェとして、最近では病院に併設するものや、河岸段丘を活用したもの、果樹園が経営するものなど増えてきています。

また、中心市街地においては、市観光協会主催の大正ロマンの街づくりを進め、本市の魅力をインスタグラムを利用して発信する「大正フォトコンテスト」や、^{はかま}袴や着物を着て街歩きをすることで特別な気分を味える「大正和服体験」が若者の間で人気となっています。

^{たかはし}高橋議員ご提案のとおり、おしゃれなお店や魅力的な観光スポットが増え、SNSを通じて、その情報が発信されることにより、本市を訪れる若者が増加するだけでなく、地元に残る若者が増える可能性も期待されます。

「まちおこし」において本当に必要なことは、沼田ならではの歴史に裏付けされたモノを保存、継承し、あるいは研究し、沼田でしかできないものを大切にしていくことであると考えています。こうした考えを念頭に置きながら、引き続き市民の皆さんや、民間事業者とともに地元に残る若者を増やす取組を進めてまいりたいと考えています。

以上申し上げまして、^{たかはし}高橋 ^{さわ}沙和議員のご質問に対する答弁とさせていただきます。

質問者 ^{はやし}林 ^{たいら}泰良 議員（10番）

1 熱中症対策と未来に残すシンボルづくりについて

ただいまの^{はやし}林 ^{たいら}泰良議員のご質問にお答え申し上げます。

熱中症対策と未来に残すシンボルづくりについて、であります、
現在、道路沿いの休憩施設として、高橋場町環状線と沼田駅東側の2
箇所においてベンチを設置し、コミュニティースポットとして管理し
ています。^{はやし}林議員ご提案の日差しをよける休憩施設を道路敷地内や
歩道敷地内に設置するには、交通安全や通行に支障がでないことを第
一に考える必要があります。

^{はやし}林議員のおっしゃるとおり、近年の地球温暖化に伴う酷暑により、
熱中症対策は小学生の皆さんや高齢者にとっても、非常に重要なこと
と考えていますので、今後の道路整備にあたりましては、^{はやし}林議員の
ご提案も参考にしながら検討を進めてまいりたいと思います。

また、未来に残すシンボルづくりにつきましては、人々の命を支え

続けてきた城堀川や、沼田のおいしい水の利活用、ピーアール方法も併せて検討を進めてまいりたいと思います。

以上申し上げまして、^{はやし}林 ^{たいら}泰良議員のご質問に対する答弁とさせていただきます。

質問者 ^{いまいずみ}今泉 ^{れん}蓮 議員（11番）

1 利根町の人が気軽に利用できる図書館作り

ただいまの^{いまいずみ}今泉 ^{れん}蓮議員のご質問にお答え申し上げます。

利根町の人が気軽に利用できる図書館作りについて、であります、利根支所の老朽化に伴い、仮庁舎で業務を行っているため、図書室の利用ができず、皆さんにはご不便をおかけしています。現在、利根支所と利根地区コミュニティセンターを統合した庁舎の整備を進めており、施設内には、図書室も設置する計画となっています。

また、「学校の図書室や移動図書館の本をほとんど読んでしまい、新しい本が少なくなってしまった」とのことですが、移動図書館でも、希望する本をリクエストすることができるほか、市立図書館には、学校やクラス単位で、図書館の本を借りることができる「^{だんたいかしだし}団体貸出」という方法もあります。学校まで本を届けますので、担任の先生に相談してください。

移動図書館「あかつき号」については、市内の全小学校を始め、利根町では、利根支所のほか、集会所などを巡回し、多くの皆さんに利用いただいています。巡回の回数を増やすことは難しい面もありますが、場所などの見直しも含めて、今後、研究したいと考えています。

^{いまいずみ}今泉議員のご意見のとおり、読書を通じて読解力がつき、表現力を高めたり、想像力を豊かにしたりすることができます。これから整備する図書室では、本の貸出しはもとより、学習や調べものなどにも、多くの皆さんが、気軽に利用していただけるよう、庁舎整備を担当する利根支所と連携して、対応してまいりたいと考えています。

以上申し上げまして、^{いまいずみ}今泉 ^{れん}蓮議員のご質問に対する答弁とさせていただきます。

質問者 ^{たかだ}高田 ^{えいと}瑛斗 議員（12番）

1 少子高齢化が進む沼田市における効率的な税金の使い方

ただいまの^{たかだ}高田 ^{えいと}瑛斗議員のご質問にお答え申し上げます。

少子高齢化が進む沼田市における効率的な税金の使い方、について
ありますが、高田議員ご指摘のとおり、全国的な課題である人口減
少、少子高齢化は予想を上回る速さで進行しています。国勢調査にお
ける本市の人口は、平成22年が51,265人、令和2年が
45,337人と、10年間で約6,000人減少しています。高齢
化率については、平成22年が26.23パーセント、令和2年が
34.11パーセントと、7.88ポイント上昇しています。

また、市税の決算額については、平成23年度が65億1,791
万円、令和3年度が62億5,134万円と2億6,657万円減少
しています。

そうした中、今年度の当初予算においては、課題解決と未来への投

資 ～持続可能なまちづくり～ をキーワードに、課題解決を実践し、子育て支援や企業誘致などの未来への投資により、市民生活の安定と向上を図る予算としましたが、大切な税金を効率的に使うためには、優先的に実施すべき事業や施策を見極めることが重要で、そうした予算編成、予算執行に努めているところです。

とりわけ、将来的な税収の増加や働き場所の確保を目指した企業誘致には力を入れています。また、市民生活には欠かせない飲み水を供給する浄水場の老朽化が著しいことから、多額の経費を必要としますが、この施設の更新も決定したところです。このほか、脱炭素社会の実現など環境政策や、DX（デジタルトランスフォーメーション）の取組などにも力を入れているところです。

基本的な行政サービスの提供はもちろんですが、将来を見据えた施策を展開することで、若い世代が「将来も住み続けたい」と思えるような沼田になるよう、引き続き、大切な税金の効率的かつ効果的な活用にも努めてまいりたいと考えています。

以上申し上げます、^{たか}高田^だ^{えい}瑛斗議員のご質問に対する答弁とさせ

ていただきます。

質問者 阿部 隼太 議員（13番）

1 行ってみたい街・歩いて楽しむ沼田市について

ただいまの阿部 隼太議員のご質問にお答え申し上げます。

行ってみたい街・歩いて楽しむ沼田市について、であります、
本市では、かつて城下町として栄えた本町通りを、土地区画整理事業
の手法により再整備を進めており、そこに暮らす人々やお店を営む人
達とともに、新しく整備される街の姿と、そこでの商売や生活につい
て、まちづくりに関する話し合いを続けています。

その中で、かつての風情のある建物や土蔵など、活用できるものは
活用し、安全面で不安のある建物は建て替えをするなどの検討も行わ
れており、本町通りを城下町風に整備してはどうかという阿部議員の
ご提案につきましては、貴重なご意見として、今後の街づくりの参考
にさせていただきたいと思っております。

また、中心市街地では、上之町の「大正ロマンエリア」を和服で散

策する「大正和服体験」や「食べ歩きチケット」、「大正ロマンコラボメニュー」の開発などを行い、集客力のアップを図っています。

今後も、阿部^{あべ}議員をはじめ、市民皆様のご意見を参考にしながら、「行ってみたい街・歩いてみたい沼田市」を目指していきたいと考えています。

以上申し上げまして、阿部^{あべ}隼太^{しゅんた}議員のご質問に対する答弁とさせていただきます。

質問者 小野塚 央樹 議員（14番）

1 子どもたちが元気に走り回れる公園を

ただいまの小野塚 央樹議員のご質問にお答え申し上げます。

子どもたちが元気に走り回れる公園を、についてであります、
現在、本市では「スポーツを目的とした運動公園」、「様々な利活用
をするための総合公園」、「近隣住民のための^{がいく}街区公園」など17箇
所の都市公園を管理しています。

それぞれの公園については、地域の特色を活かしたデザインや機能
となっており、安全に誰もが、憩いの場としてご利用いただけるよう
施設の更新や維持管理に努めているところです。

小野塚議員ご指摘のとおり、健全な運動環境の整備は健やかな身体
の育成に向け、重要なことと認識していますので、それぞれの公園や
体育施設を決められたルールの中で利活用いただき、体力の向上に努
めていただきたいと考えています。

また、公園の改修や新しい公園の整備については、市民の声を聞きながら、将来の人口の推計や求められる効果、必要性なども考慮しながら、検討してまいりたいと考えています。

以上申し上げまして、小野塚^{おのづか} 央樹^{おうき}議員のご質問に対する答弁とさせていただきます。

質問者 ^{しもいい}下飯 ^{たかき}尊生 議員（15番）

1 ふるさと納税による沼田市の税収について

ただいまの^{しもいい}下飯 ^{たかき}尊生議員のご質問にお答え申し上げます。

ふるさと納税による本市の税収について、であります、
令和4年度における本市へのふるさと^{のうぜいがく}納税額につきましては、
1億1,272万6千円でありました。

これに対し、市民が令和4年に、ほかの自治体にふるさと納税した
ことにより、本来本市に納税される市民税額は、4,500万円余り
減少します。

単純な差し引きでは、概ね6,700万円のプラスとなります。さ
らに、本来本市に納税されるはずであった市民税額、約4,500万
円の内、75パーセントに当たる概ね3,300万円が国から補われ
ます。

市民が、ほかの自治体にふるさと納税することは、^{しもいい}下飯議員がおつ

しゃるとおり市の税収が減ることになります。しかし、ふるさと納税制度は、納税者が寄附先を選択できる制度であり、生まれ故郷はもちろん、お世話になった地域等へも力になれる仕組みです。国では自治体が国民に取り組みをアピールし、自治体間の競争が進むこと、地域の在り方を改めて考えるきっかけとなることを、この制度の大切な意味合いとして定め、推進しています。

本市へのふるさと納税額は、制度開始以来、右肩上がりに推移していますが、本市の魅力を発信することはもちろんのこと、事業者の皆さんにご協力をいただき、魅力的な返礼品を増やしていくことが更なる税収増加につながるものと考えています。

以上申し上げまして、^{しもいい}下飯 ^{たかき}尊生議員のご質問に対する答弁とさせていただきます。

質問者 ^{はなも}花茂 ^{ゆいな}優衣奈 議員（16番）

1 本本当にテングーである必要があるのか。地域通貨券ではダメなのか、について

ただいまの^{はなも}花茂 ^{ゆいな}優衣奈議員のご質問にお答え申し上げます。

本本当にテングーである必要があるのか。地域通貨券ではダメなのか、についてであります。沼田市では、市内の加盟店だけで使える電子地域通貨 ^{てんぐー}t e n g o o を、令和2年12月から導入しています。

最初に、「キャンペーンの公平性」につきまして、今年の6月から7月にかけて行った、10パーセントのプレミアムチャージキャンペーンでは、約4億6,584万円の ^{てんぐー}t e n g o o が発行され、その全額が市内で消費される予定ですので、その経済効果は高いと認識しています。高額のチャージについてご指摘をいただきましたが、10万円はキャンペーン期間中の上限額として設定したものであり、1,000円単位で、少額でもチャージすることは可能となっております。

す。プレミアムチャージキャンペーンは、経済活性化策^{さく}として、今後も続ける方針ですが、生活困窮^{こんきゆう}世帯などに電子地域通貨のポイントを給付する事業を行っている自治体もありますので、こうした取組を参考にしながら、効果的な方法を検討してまいりたいと考えています。

次に、「市外の方の利用」についてですが、直近のキャンペーンでチャージをした人のうち、市外の方は約25パーセントでした。地域経済活性化のためには、市内でお金を回すだけでなく、市外の方のお金を市内で使ってもらうことが重要であることから、^{てんぐー}ten-goでは利用を市内の人に限定しておりません。プレミアム分に国の交付金を充^あてるなど、市税の負担を少なくするよう努めながら、今後も、利用を拡大してまいりたいと考えています。

次に、「不正の可能性」ではありますが、花茂議員^{はなも}ご指摘の行為は、いずれも利用規約で禁止されており、利用履歴のデータに基づき、こうした不正行為がないよう、担当課がチェックを行っています。今後も確認作業を徹底し、信頼性の確保に努めてまいりたいと考えていま

す。

以上申し上げまして、^{はなも}花茂 ^{ゆいな}優衣奈議員のご質問に対する答弁とさせていただきます。

質問者 板野 ^{いたの} ^{りくと} 陸斗 議員（17番）

1 教員の働き方について

ただいまの板野 ^{いたの} ^{りくと} 陸斗議員のご質問にお答え申し上げます。

教員の働き方について、であります。学校では従来の仕事に加え、ICTの活用や小学校の英語教育など、新たな取組が増え、教員の長時間勤務は、学校現場が抱える大きな課題であると捉えています。

日本の小中学校教員は熱意に溢れ、仕事時間は世界最長と言われており、本市においても、今年度9月の調査では、残業時間上限の月45時間を超える教員が、小学校で20.1パーセント、中学校で60.8パーセントに上っています。勤務時間後も学校に残っての事務処理、帰宅後の翌日の授業準備、休日部活動の長時間化などの実態も明らかになっています。

しかし、今年8月に、文部科学大臣から「教師を取り巻く環境をより良いものとする事は待ったなし」「できることを直ちに」

「2024年度からの3年間を集中改革期間」とする旨のメッセージが出され、国全体で改革の気運が高まっており、本市においても、校長会で業務の見直しや勤務時間の縮減を促すほか、朝や夕方以降の電話対応、出張や提出書類等の削減など、優先順位を踏まえ思い切った見直しを推進しているところです。

今後も、引き続き、学校、保護者・地域の皆さん、教育委員会と連携し、業務の削減やICT化、役割分担の見直しなどについて相談しながら、働き方改革の取組を推進してまいりたいと考えているところです。

以上申し上げまして、^{いたの}板野 ^{りくと}陸斗議員のご質問に対する答弁とさせていただきます。

質問者 よしざわ 吉澤 けいた 佳汰 議員（18番）

1 横断歩道と歩道橋、歩行者用の信号機の設置

ただいまの よしざわ 吉澤 けいた 佳汰 議員のご質問にお答え申し上げます。

安心・安全に生活するための横断歩道、歩道橋、信号の設置、についてであります。横断歩道や信号機につきましては、警察署が必要に応じて設置しています。道路の交通量や、信号機と信号機との距離など、設置するための条件がありますので、まずは相談をしてください。

また、歩道橋の整備につきましては、道路の交通量や道路の幅、横断者の数などの条件を調べた上で、国や県、市などの道路管理者が設置しています。よしざわ 吉澤議員ご指摘の国号120号線には、白沢小学校の近くに横断歩道橋が設置されています。新たな歩道橋の設置につきましては、どこに設置することが、安全に横断するために効果的かなど、皆さんの意見を聞き、関係機関と相談しながら、慎重に検討して、必

要な安全対策をはかって行きたいと考えています。

これからも、皆さんの意見を聞きながら、交通量や道路の利用状況に合わせて、横断歩道や信号機、横断歩道橋など必要な交通安全対策をはかり、皆さんが安全に生活できるよう、安心して安全なまちづくりを進めていきます。

以上申し上げまして、^{よしざわ}吉澤 ^{けいた}啓太 議員のご質問に対する答弁とさせていただきます。

質問者 七五三木 遥斗 議員（19番）

1 熱中症対策への予算の使われ方について

ただいまの七五三木 遥斗議員のご質問にお答え申し上げます。

熱中症対策への予算の使われ方について、であります。ここ数年、地球温暖化の影響による気候変動が指摘され、猛暑や酷暑という言葉を目にする機会が大変多くなりました。七五三木議員ご指摘のとおり、本市においても熱中症対策に力を入れていかなければならないと認識しています。

現状といたしましては、熱中症対策について、広報ぬまたや市ホームページへの掲載、各家庭への回覧をはじめ、高齢者については、家庭訪問や市の事業に参加していただく機会をとらえ、注意を促しています。さらに、健康部門や環境部門だけではなく、福祉部門、農政部門、教育部門など、多くの部門において、熱中症対策について市民の皆さんにお知らせしているところです。

また、本市では、地域の様々な課題に対応するために、大塚製薬株式会社と包括連携協定を締結していますが、その中には、熱中症・脱水対策が含まれており、熱中症対策に協力いただいているところで

す。

熱中症対策についての予算につきましては、令和元年度に小中学校のエアコン設置が完了したところであります。今後、行政における諸課題を総合的に勘案し、あらゆる角度から研究してまいりたいと考えています。

以上申し上げまして、七五三木^{し め ぎ} 遥斗^{はると}議員のご質問に対する答弁とさせていただきます。

質問者 ^{いがらし}五十嵐 ^{れいや}玲也 議員（20番）

1 関連ワード検索で引っ掛かるSNSでのPR活動

ただいまの^{いがらし}五十嵐 ^{れいや}玲也議員のご質問にお答え申し上げます。

関連ワード検索で引っ掛かるSNSでのPR活動、についてであります。SNS等を活用することで、高い発信効果が期待でき、本市をアピールするには、とても有効な手段であると思っています。

現在、本市では、市内外の皆さんに沼田の良さを知ってもらうため、ライン、ユーチューブ、インスタグラム、エックス、フェイスブックの5種類のSNSを活用して情報発信を行っており、それぞれが持つ特徴を生かし、使い分けることで、より効果が上がると考えています。

また、本市の魅力を広く全国に発信し、認知度の向上、イメージアップを図るため、本市出身であります、プロ野球、埼玉西武ライオンズの高橋^{たかはし}光成選手と、お笑い芸人で、最近では歌うま芸人としてもご活躍の、ほしのディスコさんに、現在、親善大使として活動していた

だいています。

ほしのディスコさんには、先月、利根町追貝にある^{ふきわれ}吹割の滝において、自身のユーチューブチャンネルの中で、沼田市の魅力を発信していただきました。

^{いがらし}五十嵐議員のご提案のとおり、著名人による宣伝効果は大きいと思われまので、より多くの人に沼田市を知ってもらい、興味を持ってもらえるよう、引き続き、親善大使のお二人には沼田市の情報発信者として、様々な沼田の魅力についてPRをお願いしていきたいと考えています。

以上申し上げまして、^{いがらし}五十嵐 ^{れいや}玲也議員のご質問に対する答弁とさせていただきます。

質問者 おおかわら ゆづき 大河原 悠月 議員（21番）

1 農作物の霜による被害について

ただいまのおおかわら ゆづき大河原 悠月議員のご質問にお答え申し上げます。

農作物の霜による被害について、であります。農業災害が起きた時は、のうぎよぎよう市農漁業災害対策特別措置条例に基づき、農作物の減収量が平年の30パーセント以上の被害を受けた農家に対して、助成をしています。

また、農業経営には、自然災害による収量減少や市場価格の下落をはじめ、様々なリスクがありますが、自然災害などによって受けた損失を補う方法として、農業保険法に基づく、「収入保険」と「農業共済」という保険制度があります。これは公的な保険制度であり、保険料の一部は国が補助します。

近年は災害のげきじんか激甚化・頻発化が心配されていますが、農業者が安心して、安定した農業経営を継続するためには、農業保険に加入するこ

とは大変に重要でありますので、本市では、一軒でも多くの農家が農業保険に加入できるよう努力してまいりたいと考えています。

以上申し上げまして、^{おおかわら}大河原 ^{ゆづき}悠月議員のご質問に対する答弁とさせていただきます。

質問者 平田 旭 議員（22番）

1 歩行者により優しいまち

ただいまの平田 旭 議員のご質問にお答え申し上げます。

歩行者により優しいまち、についてであります。街灯につきましては、各町の区長さんからの要望を受け、現地を調査し、必要箇所に設置を行っています。防犯カメラにつきましては、登下校防犯プランに基づき、令和元年度に市内の通学路に50基設置しました。近年、防犯意識の高まりから、防犯カメラの設置要望を多く受けるようになりましたが、維持管理の課題などから、慎重に検討を行っているところです。

また、歩道の整備につきましては、道路の交通量や幅員、用地の確保などの様々な条件を考慮した上で行っており、縁石で区切られている歩道や、段差を作っている歩道、白い外側線を引いただけの路側帯など様々な形状があります。白線については、引いてから年数がたち、

薄くなったり消えている箇所もありますので、区長さんからの要望により、順次引き直しを行い、歩行者の安全に努めています。

市では、交通事故や犯罪の無い安心した生活ができるよう、青色防犯パトロール車を使った巡回活動や、警察署や学校、町内会、防犯団体、交通安全団体など多くの皆さんと協力しながら、安心して安全なまちづくりを進めています。

皆さんにおかれましても、一人一人が今できること、暗い道路での反射材の活用や、一人で登下校しない、防犯ブザーを携帯するなど、犯罪や事故に巻き込まれないような取り組みを行い、安心して安全なまちづくりに取り組んでいただければと思います。

以上申し上げまして、平田^{ひらた} 旭^{あさひ} 議員のご質問に対する答弁とさせていただきます。

質問者 志賀^{しが}世^せ怜^{れん} 議員（23番）

1 ICT機器の今後の活用について

ただいまの志賀^{しが}世^せ怜^{れん}議員のご質問にお答え申し上げます。

ICT機器の今後の活用について、であります。コロナ禍の令和3年度に、1人1台端末と通信ネットワークを整備したことにより、学校ではパソコンや電子黒板などが日常的に活用され、授業の様子が大きく変わりました。本年度の全国学力・学習状況調査によると、本市の中学3年生は、授業で「ほぼ毎日」活用していると答えた生徒が26.9パーセントで、「週3回以上」と合わせると71.3パーセントに上り、国の平均を10ポイント上回る活用頻度になっております。一方、1人1台端末は、端末の重さや使い方、破損の問題などを理由に、日常的に持ち帰っている学校は多くありません。しかし、長期休業中の課題や、学校に通うことのできない児童生徒が、オンラインで授業に参加する際に活用される実践もあります。また、今年度の

夏休みに1人1台端末を活用して国際交流事業オンライン・プログラムを実施しましたが、フィリピンの中学生と本市の中学生115名が、互いの生活や文化について活発な意見交流を図るなど、時間や距離に制限されないというICTの強みを活かした学びも実現しているところではあります。

今後におきましても、授業を中心に、より効果的に活用して学力向上を図るとともに、校外に出掛ける学校行事や家庭学習等、児童生徒の主体的な学びにつながるような取組を工夫してまいりたいと考えています。

以上申し上げます。志賀^{しが}世^せ怜^{れん}議員のご質問に対する答弁とさせていただきます。

質問者 ^{みやた}宮田 ^{まな}真名 議員（24番）

1 子どもたちを土砂災害から守る通学路の安全対策について

ただいまの^{みやた}宮田 ^{まな}真名議員のご質問にお答え申し上げます。

子どもたちを土砂災害から守る通学路の安全対策について、であります。本市では、児童生徒の安全を第一に考え、保護者や地域のボランティア、学校や関係機関と連携し、通学路の巡回や草刈りの実施、地域安全マップの作成による安全点検、児童生徒に危害が及ぶおそれがある場合の保護者への情報提供など、学校や地域の実態に応じた取組を充実させているところです。

また、毎年、夏季休業中に学校から報告された危険箇所については、教育委員会、学校、PTA、道路管理者、警察、市役所、自治会が参加する合同点検を実施し、必要に応じて対策を検討・実施しています。

利南東小学校で登下校時にスクールバスを導入した場合、今年度は上段から通学している児童が170名程度いることから、3つの通学

路にバスを1台ずつ運行させ、それぞれのバスが複数回往復することを想定した場合、児童の到着時間に大きな差が生じるため、始業や下校の時間、教職員の勤務時間など、諸課題の解決に向け、研究していく必要があると考えています。

そのため、現時点では、関係機関と連携して環境整備を行うとともに、学校や家庭・地域と連携して安全教育の充実を図ることで、安全・安心な登下校について対策を講じてまいりたいと考えているところです。

以上申し上げます。宮田^{みやた}真名^{まな}議員のご質問に対する答弁とさせていただきます。

質問者 佐々木 紬月 議員（25番）

1 沼田市の環境基本計画について

ただいまの佐々木 紬月議員のご質問にお答え申し上げます。

沼田市の環境基本計画について、であります。本市においては、環境保全に関する取組を総合的に進めていくために、この計画を策定しています。環境基本計画に記載された取組の中で、特に地球温暖化の防止に関することについては、沼田市地球温暖化対策実行計画「エコの実プラン」において、より詳しい内容を記載しています。

この「エコの実プラン」に基づいて市が実施している取組としては、公共施設への再生可能エネルギーの導入、補助制度による再生可能エネルギーシステムの導入支援、ライフスタイルの変革を促す啓発事業などがあります。

なお、地球温暖化を防止するためには、佐々木議員が感じられた思いと同様、市民の皆さんが今の状況に危機感を持ち、改善したいとい

う意識を持つことが重要だと考えています。

本年4月には、家庭内でできる取組をまとめた「エコの実プラン」の概要版を全世帯向けに配布しました。こちらをご覧になっていただくことで、市民一人一人が温暖化の問題をより身近に感じていただければと考えています。

以上申し上げまして、^{ささき}佐々木 ^{ゆづき} 紬月議員のご質問に対する答弁とさせていただきます。